

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0011

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年4月13日		(金)	8:30		承認	審査	作成		
	作業件名	H6エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事									
	発生場所	H6タンクエリア						2018/4/3	2018/4/3		
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/3/27	測定者		測定器名	ICW-BL		管理番号	1F-ICWBL-14		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
		①	②	③							
	1	金属ガラ	B	01	D	B	8 m <sup>3</sup>	10 μSv/h	0.03 mSv/h	β 有	0.1 mSv/h
	2	紙・ウエス類	A	01	D	B	3 m <sup>3</sup>	10 μSv/h	0.02 mSv/h	β 有	0.1 mSv/h
	3	可燃物その他	A	04	D	B	2 m <sup>3</sup>	10 μSv/h	0.03 mSv/h	β 有	0.1 mSv/h
	4	塩化ビニール類	B	05	D	B	3 m <sup>3</sup>	10 μSv/h	0.03 mSv/h	β 有	0.1 mSv/h
	5						m <sup>3</sup>				
	8m3コンテナ2基(No.57,58)										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0030
				2018/4/4
調整後保管日時		2018年4月13日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年4月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-100
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	10m3コンテナ	10 μSv/h	15 μSv/h	15 μSv/h	エリアW1	2018/4/13 8:10	10 m <sup>3</sup>		OK-0091	1
	3	1	10m3コンテナ	10 μSv/h	20 μSv/h	21 μSv/h	エリアW1	2018/4/13 8:05	10 m <sup>3</sup>		OK-0089	1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納。

※カテ ゴリ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013708 - 0030											
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年4月19日		(木)	10:00		承認	審査	作成												
	作業件名	1F-1~4号機 タンクエリア水回収業務委託																			
	発生場所	構内 旧事務所 (GT-23北西)						2018/4/4	2018/4/3	2018/4/3											
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員			TEL												
	元請会社					担当者			TEL												
	線量測定年月日	2018/4/2	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメーター		管理番号	F1-ICWBL-31											
No.	保管物名	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率											
		①	②	③																	
		1	可燃物その他	A	04							D	B	2	m <sup>2</sup>	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
		2	紙・ウエス類	A	01							W	B	1.5	m <sup>2</sup>	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
		3	難燃シート類	C	02							D	B	1	m <sup>2</sup>	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
		4												m <sup>2</sup>							
5						m <sup>2</sup>															
注: $\alpha$ 有、 $\beta$ $\alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。 "回収"																					

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0064
				2018/4/5
調整後保管日時		2018年4月19日		9:00
【保管時の指示事項等】 時間調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年4月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
2	1	紙・ウエス類	2 $\mu$ Sv/h	4 $\mu$ Sv/h			エリアO	2018/4/19 9:30	1.3 m <sup>2</sup>			1
3	1	難燃シート類	2 $\mu$ Sv/h	3 $\mu$ Sv/h			エリアO	2018/4/19 9:30	0.9 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
②	B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
			06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
			11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
			01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
③	D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
			状態	D:乾燥, W:湿気有	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。													

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年4月16日		(月)	9:30		承認	審査	作成	
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務								
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)						2018/4/5	2018/4/5	
	作業主管G	総務グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/4/4	測定者			測定器名	F1-SC	管理番号	099	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	フレキシブルコンテナ	A	04	D	A	3 m <sup>2</sup>	4 $\mu$ Sv/h	4 $\mu$ Sv/h	無
	2	紙類	A	01	D	A	2 m <sup>2</sup>	4 $\mu$ Sv/h	4 $\mu$ Sv/h	無
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
メ モ	回収									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0067
				2018/4/5
調整後保管日時		2018年4月16日		9:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年4月16日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フレキシブルコンテナ	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアO	2018/4/16 9:10	2 m <sup>2</sup>			1
	2	1	紙類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアO	2018/4/16 9:10	1.6 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年4月16日	(月)	10:00	承認	審査	作成			
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務								
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)			2018/4/5	2018/4/5	2018/4/4			
	作業主管G	総務グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/4/4	測定者		測定器名	F1-SC	管理番号			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	布団	A	04	D	A	3 m <sup>2</sup>	4 μSv/h	4 μSv/h	無
	2	ペットボトルキャップ	A	02	D	A	1 m <sup>2</sup>	4 μSv/h	4 μSv/h	無
	3	難燃その他	C	04	D	A	1 m <sup>2</sup>	4 μSv/h	4 μSv/h	無
	4						m <sup>2</sup>			
	5						m <sup>2</sup>			
	回収									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0068
				2018/4/5
調整後保管日時		2018年4月16日		10:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年4月16日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	布団	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/4/16 9:10	3 m <sup>2</sup>			1
	2	1	ペットボトルキャップ	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/4/16 9:10	1.3 m <sup>2</sup>			1
	3	1	難燃その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/4/16 9:10	0.01 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐 採 木					
	③	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

## 瓦礫類・伐採木管理票

計上No.	6013803	-	0015
-------	---------	---	------

作業主	保管希望日時	2018年4月16日		(月)	9:00		承認		審査		作成								
	作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事																	
	発生場所	Bエリア						2018/4/9		2018/4/6		2018/4/6							
	作業主管	G 貯留設備土木グループ				監理員				TEL									
	元請会社					担当者				TEL									
管理	線量測定年月日	2018/3/6		測定者		測定器名		βγ用電離箱		管理番号		F1-ICWBL-101							
	G	No.	保管物名				※カテゴリ		物量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無		β+γ 線量率			
			①		②		③												
			1	機器類・制御盤類		B	03	D		A	6	m <sup>2</sup>	0.008	mSv/h	0.03	mSv/h	β有	0.1	mSv/h
			2	金属ガラ		B	01	D		A	6	m <sup>2</sup>	0.008	mSv/h	0.015	mSv/h	β有	0.06	mSv/h
入欄	3								m <sup>2</sup>										
	4								m <sup>2</sup>										
	5								m <sup>2</sup>										
メモ	セシウム吸着塔→ ヤード(P2)への大型廃棄物の運搬 (コンテナ収納不可)																		

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
高2018	—	04	—	0087	
					2018/4/9
調整後保管日時		2018年4月16日			9:00
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年4月16日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-83
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	機器類・制御盤類	5	$\mu$ Sv/h	10	$\mu$ Sv/h	80 $\mu$ Sv/h	エリアP2	2018/4/16 9:10	6 $m^3$			1
	2	1	金属ガラ	5	$\mu$ Sv/h	10	$\mu$ Sv/h	60 $\mu$ Sv/h	エリアP2	2018/4/16 9:10	6 $m^3$			1
											$m^3$			
											$m^3$			
											$m^3$			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用：RU、減容：VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0015

作業 主 管 欄	保管希望日時	2018年4月16日		(月)	10:30	承認	審査	作成		
	作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	Bエリア					2018/4/9	2018/4/6	2018/4/6	
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
G 記 入 欄	線量測定年月日	2018/3/6	測定者		測定器名	βγ用電離箱		管理番号	F1-ICWBL-101	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
		①	②	③						
	1	機器類・制御盤類	B	03	D	A	6 m <sup>2</sup>	0.008 mSv/h	0.03 mSv/h	β有 0.1 mSv/h
	2	金属ガラ	B	01	D	A	6 m <sup>2</sup>	0.008 mSv/h	0.015 mSv/h	β有 0.06 mSv/h
メ モ	3					m <sup>2</sup>				
	4					m <sup>2</sup>				
	5					m <sup>2</sup>				
セシウム吸着塔→ ヤード(P2)への大型廃棄物の運搬 (コンテナ収納不可)										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0088
				2018/4/9
調整後保管日時		2018年4月16日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年4月16日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-83
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	機器類・制御盤類	5 μSv/h	5 μSv/h	40 μSv/h	エリアP2	2018/4/16 10:55	6 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③	D	状 態	D:乾燥, W:湿気有				
				履 歴				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013403 - 0001

作業 主 管 欄	保管希望日時	2018年4月18日		(水)	10:00		承認	審査	作成		
	作業件名	6R D/G他点検手入工事									
	発生場所	5号機 オペフロエリア/5号機 FPC熱交換器室						2018/4/10	2018/4/10	2018/4/9	
	作業主管G	機械グループ				監理員		TEL			
	元請会社					担当者		TEL			
G 記 入 欄	線量測定年月日	2018/4/3		測定者		測定器名	β・γ用電離箱		管理番号	FI-ICWBL-72	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
		①	②	③							
	1	紙・ウエス類	A	01	D	B	0.3 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリ・ビニール袋	A	02	D	B	0.4 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
3	可燃物その他	A	04	D	B	0.05 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
4	難燃シート類	C	02	D	B	0.8 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
5	難燃物その他	C	04	D	B	0.3 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
メ モ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 巡回回収 GK-16中央 大物搬入口前										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0094
				2018/4/10
調整後保管日時		2018年4月18日		10:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年4月18日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類	2 μSv/h	30 μSv/h		エリアO	2018/4/18 10:00	0.2 m <sup>2</sup>			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール袋	2 μSv/h	8 μSv/h		エリアO	2018/4/18 10:00	0.4 m <sup>2</sup>			1
	3	1	可燃物その他	2 μSv/h	5 μSv/h		エリアO	2018/4/18 10:00	0.1 m <sup>2</sup>			1
	4	1	難燃シート類	2 μSv/h	8 μSv/h		エリアO	2018/4/18 10:00	0.8 m <sup>2</sup>			1
	5	1	難燃物その他	2 μSv/h	30 μSv/h		エリアO	2018/4/18 10:00	0.01 m <sup>2</sup>			1

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ  
モ

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

## 瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	高2018	—	04	—	0094

[illegible]

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。



瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013403 - 0001			
作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年4月18日		(水)	10:00		承認	審査	作成				
	作業件名	6R D/G他点検手入工事											
	発生場所	5号機 オペフロエリア/5号機 FPC熱交換器室						2018/4/10	2018/4/10	2018/4/9			
	作業主管G	機械グループ				監理員			TEL				
	元請会社					担当者			TEL				
	線量測定年月日	2018/4/3	測定者			測定器名	β・γ用電離箱		管理番号	FI-ICWBL-72			
G 記 入 欄 メ モ	No.	保管物名				※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③									
	1	紙・ウエス類	A	01	D	B	0.5	m <sup>2</sup>	0.01	mSv/h	0.1	mSv/h	無
	2	プラスチック・ポリ・ビニール袋	A	02	D	B	0.3	m <sup>2</sup>	0.01	mSv/h	0.04	mSv/h	無
	3	可燃物その他(テープ 他)	A	04	D	B	0.07	m <sup>2</sup>	0.01	mSv/h	0.03	mSv/h	無
	4	難燃シート類	C	02	D	B	0.3	m <sup>2</sup>	0.01	mSv/h	0.04	mSv/h	無
5	難燃物その他(ホース 他)	C	04	D	B	0.1	m <sup>2</sup>	0.01	mSv/h	0.04	mSv/h	無	
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 巡回回収 GK-16中央 大物搬入口前													

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0095
				2018/4/10
調整後保管日時		2018年4月18日		10:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年4月18日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μ Sv/h	8	μ Sv/h								
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール袋	2	μ Sv/h	8	μ Sv/h			エリアO	2018/4/18 10:00	0.4	m <sup>2</sup>		1
	4	1	難燃シート類	2	μ Sv/h	8	μ Sv/h			エリアO	2018/4/18 10:00	0.2	m <sup>2</sup>		1
													m <sup>2</sup>		
													m <sup>2</sup>		
													m <sup>2</sup>		

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
②	B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
			06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
			11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
			01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
③	D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
			状態	D:乾燥, W:湿気有	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票												計上No. 6013112 - 0002			
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年4月13日				(金)	11:00		承認	審査	作成				
	作業件名	G1エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事													
	発生場所	G1タンク盛土上								2018/4/10	2018/4/10	2018/4/10			
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL						
	元請会社					担当者			TEL						
	線量測定年月日	2018/3/13		測定者			測定器名	電離箱式サーベイメーター		管理番号	F1-ICWBL-77				
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無	β + γ 線量率			
	① ② ③														
	1	土砂 B 04 D A				5 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h		0.003 mSv/h		β 有	0.045 mSv/h			
	2	シート B 05 D A				2 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h		0.003 mSv/h		β 有	0.045 mSv/h			
3					m <sup>2</sup>										
4					m <sup>2</sup>										
5					m <sup>2</sup>										
メモ	・G1 No.12(OK-0041) 8m3 コンテナ														

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0107
				2018/4/11
調整後保管日時		2018年4月13日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容											
測定日	2018年4月13日										
測定No.	氏名	測定器	管理番号								
1		ICWBL	F1-ICWBL-100								
2											
3											
4											

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				①	②	③	④	⑤							
	1	1	10m3コンテナ	10	μ Sv/h	10	μ Sv/h	13	μ Sv/h	エリアW1	2018/4/13 11:10	10 m <sup>3</sup>		OK-0041	1
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ															
①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—			
			06	—	07	—	08	—	09	—	10	—			
	B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類			
			06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他			
			11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—			
	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—			
			01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—			
	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—			
			01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—			
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」								

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0015					
作業主管理記入欄	保管希望日時	2018年4月17日		(火)	9:00		承認	審査	作成						
	作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事													
	発生場所	Bエリア					2018/4/10	2018/4/10	2018/4/10						
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員			TEL							
	元請会社				担当者			TEL							
線量測定年月日	2018/3/6	測定者			測定器名	βγ用電離箱		管理番号	F1-ICWBL-101						
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率					
		①	②	③											
	1	機器類・制御盤類	B	03	D	A	6	m <sup>2</sup>	0.008	mSv/h	0.03	mSv/h	β 有	0.1	mSv/h
	2	金属ガラ	B	01	D	A	6	m <sup>2</sup>	0.008	mSv/h	0.015	mSv/h	β 有	0.06	mSv/h
3							m <sup>2</sup>								
4							m <sup>2</sup>								
5							m <sup>2</sup>								
メモ	セシウム吸着塔→ ヤード(P2)への大型廃棄物の運搬 (コンテナ収納不可)														

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0108
				2018/4/11
調整後保管日時		2018年4月17日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年4月17日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-83
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				5	μ Sv/h	15	μ Sv/h	50	μ Sv/h						
1	1	機器類・制御盤類	5	μ Sv/h	15	μ Sv/h	50	μ Sv/h	エリアP2	2018/4/17 9:15	6	m <sup>2</sup>			1
2	1	金属ガラ	5	μ Sv/h	10	μ Sv/h	25	μ Sv/h	エリアP2	2018/4/17 9:15	6	m <sup>2</sup>			1
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載															
メモ															

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —	
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —	
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —	
		D	伐採木						
		②		状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)									
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。									
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。									

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0015

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年4月17日	(火)	10:30	承認	審査	作成
	作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事					
	発生場所	Bエリア			2018/4/10	2018/4/10	2018/4/10
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL		
	元請会社			担当者	TEL		
G	線量測定年月日	2018/3/6	測定者			測定器名	βγ用電離箱
						管理番号	F1-ICWBL-101
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率
		①	②	③			β・α 汚染の有無
							β+γ 線量率
メ モ	1	機器類・制御盤類	B	03	D	A	6 m <sup>2</sup> 0.008 mSv/h 0.03 mSv/h β有 0.1 mSv/h
	2	金属ガラ	B	01	D	A	6 m <sup>2</sup> 0.008 mSv/h 0.015 mSv/h β有 0.06 mSv/h
	3						m <sup>2</sup>
	4						m <sup>2</sup>
	5						m <sup>2</sup>
セシウム吸着塔→ ヤード(P2)への大型廃棄物の運搬 (コンテナ収納不可)							

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0109
				2018/4/11
調整後保管日時		2018年4月17日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年4月17日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-83
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	機器類・制御盤類	5 μSv/h	10 μSv/h	60 μSv/h	エリアP2	2018/4/17 11:05	4 m <sup>2</sup>			1
	2	1	金属ガラ	5 μSv/h	5 μSv/h	20 μSv/h	エリアP2	2018/4/17 11:05	2 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐 採 木					
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。								

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0015																																																																																					
作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年4月18日		(水)	9:00		承認		審査	作成																																																																																				
	作業件名		Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事																																																																																												
	発生場所		Bエリア				2018/4/10	2018/4/10	2018/4/10																																																																																						
	作業主管G		貯留設備土木グループ				監理員		TEL																																																																																						
	元請会社						担当者		TEL																																																																																						
	線量測定年月日		2018/3/6		測定者		測定器名		βγ用電離箱		管理番号 F1-ICWBL-101																																																																																				
	No.		※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無	β+γ 線量率																																																																																		
	1		機器類・制御盤類			B 03 D A		6 m <sup>2</sup>		0.008 mSv/h		0.03 mSv/h	β有	0.1 mSv/h																																																																																	
	2		金属ガラ			B 01 D A		6 m <sup>2</sup>		0.008 mSv/h		0.015 mSv/h	β有	0.06 mSv/h																																																																																	
	3																																																																																														
4																																																																																															
5																																																																																															
セシウム吸着塔→ ヤード(P2)への大型廃棄物の運搬 (コンテナ収納不可)																																																																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="12">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th colspan="2">測定日</th> <th colspan="10">2018年4月18日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th colspan="9">管理番号</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICWBL</td> <td colspan="9">F1-ICWBL-83</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td colspan="9"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td colspan="9"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td colspan="9"></td> </tr> </thead> </table>												線量測定内容												測定日		2018年4月18日										測定No.	氏名	測定器	管理番号									1		ICWBL	F1-ICWBL-83									2												3												4											
線量測定内容																																																																																															
測定日		2018年4月18日																																																																																													
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																																																																												
1		ICWBL	F1-ICWBL-83																																																																																												
2																																																																																															
3																																																																																															
4																																																																																															
保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.		測定No.																																																																											
	1	1	機器類・制御盤類		5 μSv/h		10 μSv/h		60 μSv/h		エリアP2		2018/4/18 9:00		6 m <sup>2</sup>					1																																																																											
	2	1	金属ガラ		5 μSv/h		10 μSv/h		60 μSv/h		エリアP2		2018/4/18 9:00		6 m <sup>2</sup>					1																																																																											
															m <sup>2</sup>																																																																																
															m <sup>2</sup>																																																																																
															m <sup>2</sup>																																																																																
															m <sup>2</sup>																																																																																
	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																																																																														
	メ																																																																																														
	モ																																																																																														
※ カ テ ゴ リ	①		A 可燃物		01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05		—																																																																																
					06 —		07 —		08 —		09 —		10 —																																																																																		
			B 不燃物		01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類																																																																																		
					06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他																																																																																		
					11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 —		14 —		15 —																																																																																		
			C 難燃物		01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —																																																																																		
					01 伐採木		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —																																																																																		
			②		状 態		D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																																																																		
			注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)																																																																																												
			注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。																																																																																												
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。																																																																																															

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0015

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年4月18日		(水)	10:30		承認	審査	作成	
	作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	Bエリア						2018/4/10	2018/4/10	2018/4/10
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL	
	元請会社					担当者			TEL	
	線量測定年月日	2018/3/6	測定者			測定器名	βγ用電離箱		管理番号	F1-ICWBL-101
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	機器類・制御盤類	B	03	D	A	6 m <sup>2</sup>	0.008 mSv/h	0.03 mSv/h	β有	0.1 mSv/h
2	金属ガラ	B	01	D	A	6 m <sup>2</sup>	0.008 mSv/h	0.015 mSv/h	β有	0.06 mSv/h
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
メ モ	セシウム吸着塔→ ヤード(P2)への大型廃棄物の運搬 (コンテナ収納不可)									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0111
				2018/4/11
調整後保管日時		2018年4月18日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年4月18日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-83	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	機器類・制御盤類	5 μSv/h	5 μSv/h	15 μSv/h	エリアP2	2018/4/18 11:10	6 m <sup>2</sup>			1
	2	1	金属ガラ	5 μSv/h	5 μSv/h	15 μSv/h	エリアP2	2018/4/18 11:10	3 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」 . B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013205 - 0003

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年4月18日		(水)	9:30		承認	審査	作成	
	作業件名	事務本館ゲートモニタ設置に伴う除却工事								
	発生場所	GU-21南						2018/4/11	2018/4/11	
	作業主管G	建築総合工事グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2017/11/20	測定者			測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号	F1-ICW-052	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
	1	木材	A	03	D	A	4 m <sup>2</sup>	4 μSv/h	4 μSv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
	3						m <sup>2</sup>			
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
回収										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0112
				2018/4/11
調整後保管日時		2018年4月18日		9:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年4月18日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/4/18 10:05	4 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 能			D:乾燥 W:湿気有		③	履歴				
				A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」									

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013205 - 0003												
作業主管理記入欄	保管希望日時		2018年4月18日		(水)	10:30		承認		審査		作成										
	作業件名		事務本館ゲートモニタ設置に伴う除却工事																			
	発生場所		GU-21南						2018/4/11		2018/4/11		2018/4/11									
	作業主管G		建築総合工事グループ				監理員		TEL													
	元請会社						担当者		TEL													
	線量測定年月日		2017/11/20		測定者				測定器名		電離箱サーベイメータ		管理番号		F1-ICW-052							
※カテゴリ	No.	保管物名		※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無		β + γ 線量率							
	1	木材		A 03 D A			4 m <sup>2</sup>		4 μSv/h		4 μSv/h		無									
	2						m <sup>2</sup>															
	3						m <sup>2</sup>															
	4						m <sup>2</sup>															
5						m <sup>2</sup>																
回収																						
線量測定内容																						
測定日		2018年4月18日																				
測定No.		氏名		測定器		管理番号																
1				ICW		F1-ICW-158																
2																						
3																						
4																						
保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用/ 減容可否		コンテナNo.		測定No.	
	1	1	木材		2 μSv/h		2 μSv/h				エリアO		2018/4/18 11:10		4 m <sup>2</sup>						1	
															m <sup>2</sup>							
															m <sup>2</sup>							
															m <sup>2</sup>							
															m <sup>2</sup>							
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																						
※カテゴリ																						
※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05		—								
				06 —		07 —		08 —		09 —		10 —										
		B	不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05		塩化ビニール類								
				06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10		不燃物その他								
				11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 —		14 —		15		—								
		C	難燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05		—								
				01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05		—								
		D	伐採木																			
		②		状 態		D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」										
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)																						
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。																						
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。																						



瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013205 - 0003			
作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年4月18日		(水)	10:30		承認		審査	作成		
	作業件名		事務本館ゲートモニタ設置に伴う除却工事										
	発生場所		GU-21南				2018/4/11	2018/4/11	2018/4/11				
	作業主管G		建築総合工事グループ				監理員		TEL				
	元請会社						担当者		TEL				
	線量測定年月日		2017/11/20		測定者		測定器名		電離箱サーベイメータ		管理番号	F1-ICW-052	
	No.		※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
	1		木材			A 03 D A		4 m <sup>2</sup>		4 μSv/h		4 μSv/h 無	
	2							m <sup>2</sup>					
	3							m <sup>2</sup>					
4							m <sup>2</sup>						
5							m <sup>2</sup>						
回収													

  

固体廃棄物管理G記入欄				受付	
受 付 番 号					
高2018	—	04	—	0114	2018/4/11
調整後保管日時		2018年4月19日		9:30	
【保管時の指示事項等】					
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。					

  

線量測定内容					
測定日		2018年4月19日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号		
1		ICW	F1-ICW-158		
2					
3					
4					

  

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/4/19 9:50	4 m <sup>2</sup>			1
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	D	伐 採 木	状 態		D:乾燥, W:湿気有		履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013205 - 0003			
作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年4月19日		(木)		9:30		承認		審査	作成	
	作業件名		事務本館ゲートモニタ設置に伴う除却工事										
	発生場所		GU-21南						2018/4/11		2018/4/11	2018/4/11	
	作業主管G		建築総合工事グループ				監理員		TEL				
	元請会社						担当者		TEL				
	線量測定年月日		2017/11/20		測定者		測定器名		電離箱サーベイメータ		管理番号 F1-ICW-052		
	No.		※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無	
	1		廃プラ類			A 02 D A		4 m <sup>2</sup>		4 μSv/h		4 μSv/h 無	
	2							m <sup>2</sup>					
3							m <sup>2</sup>						
4							m <sup>2</sup>						
5							m <sup>2</sup>						
回収													

  

固体廃棄物管理G記入欄										受付	
受付番号											
高2018		—		04		—		0115		2018/4/11	
調整後保管日時		2018年4月19日						10:30			
【保管時の指示事項等】											
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。											

  

線量測定内容											
測定日		2018年4月19日									
測定No.	氏名	測定器	管理番号								
1		ICW	F1-ICW-158								
2											
3											
4											

  

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	廃プラ類	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/4/19 10:30	4.3 m <sup>2</sup>			1
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—		
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—		
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類		
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—		
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							
		注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
		注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。															

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013205 - 0003

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年4月19日	(木)	10:30	承認	審査	作成			
	作業件名	事務本館ゲートモニタ設置に伴う除却工事								
	発生場所	GU-21南			2018/4/11	2018/4/11	2018/4/11			
	作業主管G	建築総合工事グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2017/11/20	測定者		測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号			
							F1-ICW-052			
G 記 入 欄	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	ビニール類	A	02	D	A	4 m <sup>2</sup>	4 $\mu$ Sv/h	4 $\mu$ Sv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
	3						m <sup>2</sup>			
	4						m <sup>2</sup>			
メ モ	5						m <sup>2</sup>			
	回収									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0116
				2018/4/11
調整後保管日時		2018年4月20日		9:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年4月20日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ビニール類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアO	2018/4/20 9:50	4.5 m <sup>2</sup>			1
	1	2	ビニール類 (→H)	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアO	2018/4/20 9:50	1 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013205 - 0003		
作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年4月20日		(金)	9:30		承認	審査	作成			
	作業件名	事務本館ゲートモニタ設置に伴う除却工事										
	発生場所	GU-21南						2018/4/11	2018/4/11	2018/4/11		
	作業主管G	建築総合工事グループ				監理員	TEL					
	元請会社					担当者	TEL					
	線量測定年月日	2017/11/20	測定者			測定器名	電離箱サーベイメータ	管理番号	F1-ICW-052			
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
	1	ビニール類		A	02	D	A	4 m <sup>2</sup>	4 $\mu$ Sv/h	4 $\mu$ Sv/h	無	
	2							m <sup>2</sup>				
	3							m <sup>2</sup>				
4							m <sup>2</sup>					
5							m <sup>2</sup>					
メモ	回収											

  

線量測定内容											
測定日	2018年4月20日										
測定No.	氏名	測定器	管理番号								
1		ICW	F1-ICW-158								
2											
3											
4											

  

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h								
1	1	1	ビニール類	2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h			エリアO	2018/4/20 9:50	4 m <sup>2</sup>			1
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。 固体庫保管時はコンテナNo.記載

  

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05	
				06		-		07		-		08	
		B	不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類	
				06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他	
				11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13		-		14	
C	難燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05		-	
		01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03		-		04		-	
②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③		履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0005

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年4月16日		(月)	8:00		承認	審査	作成		
	作業件名	H1, 2エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事									
	発生場所	H4N						2018/4/12	2018/4/11	2018/4/11	
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/4/11		測定者			測定器名	電離箱式サーベイメーター		管理番号	F1-ICWBL-77
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ ・ $\alpha$ 汚染の有無	$\beta$ ・ $\gamma$ 線量率		
		①	②	③							
	1	砕石	B	04	D	A	13 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.01 mSv/h	$\beta$ 有	0.7 mSv/h
	2	鋼製堰	B	01	D	A	2 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.01 mSv/h	$\beta$ 有	0.1 mSv/h
	3						m <sup>3</sup>				
	4						m <sup>3</sup>				
	5						m <sup>3</sup>				
	土のうにてW1に運搬15袋										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0121
				2018/4/12
調整後保管日時		2018年4月16日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年4月16日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-100
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ ・ $\gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	砕石	10 $\mu$ Sv/h	25 $\mu$ Sv/h	800 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2018/4/16 8:00	13 m <sup>3</sup>			1
	2	1	鋼製堰	10 $\mu$ Sv/h	10 $\mu$ Sv/h	150 $\mu$ Sv/h	エリアW1	2018/4/16 8:00	2 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		E	その他	01	その他	02	その他	03	その他	04	その他	05	—
				01	その他	02	その他	03	その他	04	その他	05	—
		F	その他	01	その他	02	その他	03	その他	04	その他	05	—
01	その他			02	その他	03	その他	04	その他	05	—		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta$ ・ $\gamma$ 線量率欄に「 $\beta$ ・ $\gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta$ ・ $\gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0005

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年4月16日		(月)	9:00		承認	審査	作成	
	作業件名	H1, 2エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事								
	発生場所	H4N						2018/4/12	2018/4/11	2018/4/11
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL	
	元請会社					担当者			TEL	
	線量測定年月日	2018/4/11	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメーター		管理番号	F1-ICWBL-77
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	コンガラ	B	02	D	A	15 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.005 mSv/h	$\beta$ 有 0.3 mSv/h
	2						m <sup>2</sup>			
	3						m <sup>2</sup>			
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
土のうにてW1に運搬15袋										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0122
				2018/4/12
調整後保管日時		2018年4月16日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年4月16日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-100	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンガラ	10 $\mu$ Sv/h	20 $\mu$ Sv/h	1.8 mSv/h	エリアW1	2018/4/16 8:10	15 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐 採 木					
	③	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013112 - 0005					
作 業 主 管 欄	保管希望日時	2018年4月16日		(月)	10:00		承認	審査	作成						
	作業件名	H1, 2エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事													
	発生場所	H4N						2018/4/12	2018/4/11	2018/4/11					
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL						
	元請会社					担当者			TEL						
記 入 欄	線量測定年月日	2018/4/11		測定者			測定器名	電離箱式サーベイメーター		管理番号	F1-ICWBL-77				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率						
	1	砕石	B	04	D	A	13	m <sup>3</sup>	0.002	mSv/h	0.005	mSv/h	$\beta$ 有	0.7	mSv/h
	2	金属	B	01	D	A	2	m <sup>3</sup>	0.002	mSv/h	0.003	mSv/h	$\beta$ 有	0.1	mSv/h
3							m <sup>3</sup>								
4							m <sup>3</sup>								
5							m <sup>3</sup>								
メ モ	土のうにてW1に運搬15袋														

  

固体廃棄物管理G記入欄										受付	
受 付 番 号											
高2018	—	04	—	0123						2018/4/12	
調整後保管日時				2018年4月16日				10:00			
【保管時の指示事項等】											

  

線量測定内容											
測定日	2018年4月16日										
測定No.	氏名	測定器	管理番号								
1		ICWBL	F1-ICWBL-100								
2											
3											
4											

  

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	砕石	10	$\mu$ Sv/h	15	$\mu$ Sv/h	300	$\mu$ Sv/h	エリアW1	2018/4/16 8:40	13	m <sup>3</sup>			1
2	1	金属	10	$\mu$ Sv/h	15	$\mu$ Sv/h	100	$\mu$ Sv/h	エリアW1	2018/4/16 8:40	2	m <sup>3</sup>			1
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			
												m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013112 - 0005

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年4月16日		(月)	11:00		承認	審査	作成						
	作業件名	H1, 2エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事													
	発生場所	G6エリア							2018/4/12	2018/4/11					
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL						
	元請会社					担当者			TEL						
	線量測定年月日	2018/4/11		測定者			測定器名	ICWBL							
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率					
	1	金属スクラップ	B	01	D	B	2	m <sup>2</sup>	0.003	mSv/h	0.01	mSv/h	β 有	0.21	mSv/h
	2	汚染ゴムマット	C	01	D	B	7	m <sup>2</sup>	0.003	mSv/h	0.02	mSv/h	β 有	0.8	mSv/h
	3							m <sup>2</sup>							
	4							m <sup>2</sup>							
	5							m <sup>2</sup>							
	土のうにてW1に運搬15袋														

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0124
				2018/4/12
調整後保管日時		2018年4月16日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年4月16日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-100	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属スクラップ	10 μSv/h	15 μSv/h	200 μSv/h	エリアW1	2018/4/16 9:00	2 m <sup>2</sup>			1
	2	1	汚染ゴムマット	10 μSv/h	50 μSv/h	2 mSv/h	エリアW1	2018/4/16 9:00	7 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013801 - 0005

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年4月16日		(月)	8:00		承認	審査	作成	
	作業件名	1F 4m盤エリア排水設備工事								
	発生場所	2. 5m盤エリア (GN-08中央)						2018/4/12	2018/4/12	2018/4/12
	作業主管 G	地下水調査グループ				監理員				
	元請会社					担当者				
	線量測定年月日	2018/3/21	測定者			測定器名	ICW	管理番号	F1-GMAD-245	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
	① ② ③									
	1	可燃物	A	04	D	A	5 m <sup>3</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
	2						m <sup>3</sup>			
3						m <sup>3</sup>				
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				
回収										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0132
				2018/4/12
調整後保管日時		2018年4月16日		8:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2018年4月16日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物	2 μSv/h	10 μSv/h		エリアO	2018/4/16 8:10	9.8 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木 (幹・根)	02 伐採木 (枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐 採 木					
		② 状 態		D:乾燥, W:湿気有		③ 履 歴		A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)								
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。								
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。								

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013801 - 0005

作 業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年4月16日	(月)	9:30	承認	審査	作成	
	作業件名	1F 4m盤エリア排水設備工事						
	発生場所	2. 5m盤エリア (GN-08中央)			2018/4/12	2018/4/12	2018/4/12	
	作業主管G	地下水調査グループ		監理員		TEL		
	元請会社			担当者		TEL		
G 記 入 欄	線量測定年月日	2018/3/21	測定者		測定器名	ICW	管理番号 F1-GMAD-245	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	
		①	②	③			$\beta + \alpha$ 汚染の有無	
	1	ゴム類	C	01	D	A	2 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h
	2						m <sup>2</sup>	
メ モ	3						m <sup>2</sup>	
	4						m <sup>2</sup>	
	5						m <sup>2</sup>	
	回収							

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0133
				2018/4/12
調整後保管日時		2018年4月16日		9:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年4月16日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ゴム類	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアO	2018/4/16 8:10	0.2 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013801 - 0005		
作業主管理	保管希望日時	2018年4月17日		(火)	8:00		承認	審査	作成			
	作業件名	1F 4m盤エリア排水設備工事										
	発生場所	2. 5m盤エリア (GN-08中央)					2018/4/12	2018/4/12	2018/4/12			
	作業主管G	地下水調査グループ			監理員			TEL				
	元請会社				担当者			TEL				
線量測定年月日	2018/3/21	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-GMAD-245			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無		$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	難燃物	C	04	D	A	5 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
	2						m <sup>2</sup>					
	3						m <sup>2</sup>					
入欄メ	4						m <sup>2</sup>					
	5						m <sup>2</sup>					
	回収											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0134
				2018/4/12
調整後保管日時		2018年4月17日		8:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年4月17日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-120
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	難燃物 (→H)	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアO	2018/4/17 8:00	2 m <sup>2</sup>			1	
								m <sup>2</sup>				
								m <sup>2</sup>				
								m <sup>2</sup>				
								m <sup>2</sup>				

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13	—	14	—
C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—		
		01 伐採木 (幹・根)	02 伐採木 (枝・葉)	03	—	04	—		
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013801 - 0005		
作業主管理	保管希望日時	2018年4月17日		(火)	9:30		承認	審査	作成			
	作業件名	1F 4m盤エリア排水設備工事										
	発生場所	2.5m盤エリア (GN-08中央)					2018/4/12	2018/4/12	2018/4/12			
	作業主管G	地下水調査グループ			監理員			TEL				
	元請会社				担当者			TEL				
	線量測定年月日	2018/3/21	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-GMAD-245		
G記入欄	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③								
	1	難燃物	C	04	D	A	5 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
	2						m <sup>2</sup>					
	3						m <sup>2</sup>					
	4						m <sup>2</sup>					
5						m <sup>2</sup>						
メモ	回収											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
高2018	—	04	—	0135
				2018/4/12
調整後保管日時		2018年4月17日		9:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年4月17日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-120
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	難燃物 (→H)	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアO	2018/4/17 8:00	1 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ												
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013801 - 0005				
主 管	保管希望日時	2018年4月17日		(火)	12:30		承認	審査	作成					
	作業件名	1F 4m盤エリア排水設備工事												
	発生場所	2.5m盤エリア (GN-08中央)					2018/4/12	2018/4/12	2018/4/12					
	作業主管G	地下水調査グループ			監理員			TEL						
	元請会社				担当者			TEL						
記 入 欄	線量測定年月日	2018/3/21	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-GMAD-245				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率					
	① ② ③													
	1	難燃物	C	04	D	A	5	m <sup>2</sup>	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
	2							m <sup>2</sup>						
3							m <sup>2</sup>							
4							m <sup>2</sup>							
5							m <sup>2</sup>							
メ	回収													

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0136
				2018/4/12
調整後保管日時		2018年4月17日		10:30
【保管時の指示事項等】 時間調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年4月17日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-120
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h								
1	1	難燃物 (→H)	2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h			エリアO	2018/4/17 8:45	2	m <sup>2</sup>			1
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票															計上No.		6013801 - 0005							
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年4月17日				(火)		12:30				承認		審査		作成							
	作業件名		1F 4m盤エリア排水設備工事																					
	発生場所		2. 5m盤エリア (GN-08中央)												2018/4/12		2018/4/12		2018/4/12					
	作業主管G		地下水調査グループ				監理員				TEL													
	元請会社						担当者				TEL													
	線量測定年月日		2018/3/21		測定者				測定器名		ICW		管理番号		F1-GMAD-245									
	No.		保管物名				※カテゴリ		物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無		$\beta + \gamma$ 線量率							
	1		難燃物				C 04 D A		5 m <sup>3</sup>		0.01 mSv/h		0.01 mSv/h		無									
	2								m <sup>3</sup>															
	3								m <sup>3</sup>															
4								m <sup>3</sup>																
5								m <sup>3</sup>																
回収																								
<div> <div> <div>調整後保管日時</div> <div>2018年4月17日</div> </div> <div> <div>2018/4/12</div> </div> </div> <div> <div>【保管時の指示事項等】</div> <div>時間調整をしています。</div> <div>発生場所にて管理票の確認。</div> <div>運搬車を配備致しますので</div> <div>保管物の詰込みをお願いします。</div> </div>																								
<div> <div>線量測定内容</div> <div> <div>測定日</div> <div>2018年4月17日</div> </div> </div> <div> <div>測定No.</div> <div>氏名</div> <div>測定器</div> <div>管理番号</div> </div> <div> <div>1</div> <div></div> <div>ICWBL</div> <div>F1-ICWBL-120</div> </div> <div> <div>2</div> <div></div> <div></div> <div></div> </div> <div> <div>3</div> <div></div> <div></div> <div></div> </div> <div> <div>4</div> <div></div> <div></div> <div></div> </div>																								
保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.		枝番		保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用/ 減容可否		コンテナNo.		測定No.	
	1		1		難燃物 (→H)		2 $\mu$ Sv/h		2 $\mu$ Sv/h				エリアO		2018/4/17 8:45		1 m <sup>3</sup>						1	
																	m <sup>3</sup>							
																	m <sup>3</sup>							
																	m <sup>3</sup>							
																	m <sup>3</sup>							
																	m <sup>3</sup>							
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																								
メ モ																								
<div> <div>※カテゴリ</div> <div> <div>①</div> <div> <div>A 可燃物</div> <div> <div>01 紙・ウェス類</div> <div>02 プラスチック・ポリ・ビニール類</div> <div>03 木材類</div> <div>04 可燃物その他</div> <div>05 -</div> </div> </div> <div> <div>B 不燃物</div> <div> <div>06 -</div> <div>07 -</div> <div>08 -</div> <div>09 -</div> <div>10 -</div> </div> </div> <div> <div>C 難燃物</div> <div> <div>01 金属ガラ</div> <div>02 コンクリートガラ</div> <div>03 機器類・制御盤類</div> <div>04 土砂類</div> <div>05 塩化ビニール類</div> </div> </div> <div> <div>D 伐採木</div> <div> <div>06 保温材</div> <div>07 石綿含有物</div> <div>08 ケーブル類</div> <div>09 アスファルトガラ</div> <div>10 不燃物その他</div> </div> </div> <div> <div>11 フランジタンク本体</div> <div>12 フランジタンク付属品</div> <div>13 -</div> <div>14 -</div> <div>15 -</div> </div> </div> <div> <div>② 状態</div> <div>D:乾燥, W:湿気有</div> <div>③ 履歴</div> <div>A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」</div> </div> </div> <div> <div>注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)</div> <div>注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。</div> <div>注5: <math>\beta</math> 汚染有の場合、表面線量率欄には「<math>\gamma</math>」のみの線量率を記載し、<math>\beta + \gamma</math> 線量率欄に「<math>\beta + \gamma</math>」の線量率を記載すること。<math>\beta</math> 汚染無の場合は、<math>\beta + \gamma</math> 線量率の記載不要。</div> </div>																								

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013708 - 0050					
作業主管理	保管希望日時	2018年4月20日		(金)	10:00		承認	審査	作成						
	作業件名	Bエリアタンク設置工事													
	発生場所	H2エリア(GO-25北東)						2018/4/12	2018/4/12	2018/4/12					
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員			TEL						
	元請会社					担当者			TEL						
線量測定	線量測定年月日	2018/4/12		測定者			測定器名	ICW		管理番号	ICW-348				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率						
		①	②	③											
		1	難燃物その他	C 04						D B	0.2 m <sup>2</sup>	1 $\mu$ Sv/h	1 $\mu$ Sv/h	無	
		2	木材類	A 03						D B	0.5 m <sup>2</sup>	1 $\mu$ Sv/h	1 $\mu$ Sv/h	無	
入 欄	3	紙・ウエス類	A 01	D B	0.3 m <sup>2</sup>	1 $\mu$ Sv/h	1 $\mu$ Sv/h	無							
	4	プラスチック・ポリ・ビニール類	A 02	D B	0.5 m <sup>2</sup>	1 $\mu$ Sv/h	1 $\mu$ Sv/h	無							
	5	可燃物その他	A 04	D B	0.2 m <sup>2</sup>	1 $\mu$ Sv/h	1 $\mu$ Sv/h	無							
	メ	回収													
	モ														

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0139
				2018/4/12
調整後保管日時		2018年4月20日		10:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年4月20日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h									
入 欄	1	1	難燃物その他	2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h			エリアO	2018/4/20 10:00	0.01	m <sup>2</sup>			1
	2	1	木材類	2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h			エリアO	2018/4/20 10:00	1.5	m <sup>2</sup>			1
	3	1	紙・ウエス類	2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h			エリアO	2018/4/20 10:00	0.3	m <sup>2</sup>			1
	4	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h			エリアO	2018/4/20 10:00	0.7	m <sup>2</sup>			1
	5	1	可燃物その他	2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h			エリアO	2018/4/20 10:00	0.3	m <sup>2</sup>			1
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																
メ																
モ																

※カテゴリ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—		
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—		
				B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
						06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
						11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—				
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013102 - 0002		
作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年4月17日		(火)	8:00		承認	審査	作成			
	作業件名	土捨場北側土地造成工事										
	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GM-06 東)						2018/4/12	2018/4/12	2018/4/12		
	作業主管G	廃棄物基盤グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2018/4/10	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-74		
G記入欄	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③								
	1	プラスチック,ポリ,ビニール類	A 02	D B	5 m <sup>2</sup>	3 $\mu$ Sv/h	3 $\mu$ Sv/h	無				
	2				m <sup>2</sup>							
	3				m <sup>2</sup>							
	4				m <sup>2</sup>							
メ	巡回											

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
高2018	—	04	—	0141	2018/4/13
調整後保管日時		2018年4月17日			8:00
【保管時の指示事項等】					
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。					

線量測定内容			
測定日	2018年4月17日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h								
1	1	プラスチック,ポリ,ビニール類	2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h			エリアO	2018/4/17 8:10	2.5 m <sup>2</sup>				1
											m <sup>2</sup>				
											m <sup>2</sup>				
											m <sup>2</sup>				
											m <sup>2</sup>				

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A 可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —	
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —					
①	B 不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類			
		06 保温材	07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他			
		11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品		13 —		14 —		15 —			
		01 難燃物	02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —			
②	D 伐採木	01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —		
		01 状態		D:乾燥, W:湿気有		③ 履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年4月17日	(火)	9:00	承認	審査	作成			
	作業件名	土捨場北側土地造成工事								
	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GM-06 東)			2018/4/12	2018/4/12	2018/4/12			
	作業主管G	廃棄物基盤グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/4/10	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号 F1-ICWBL-74			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率			
	①	②	③				$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
1	大型土嚢	A	04	D	B	5 m <sup>3</sup>	3 $\mu$ Sv/h	3 $\mu$ Sv/h	無	
2						m <sup>3</sup>				
3						m <sup>3</sup>				
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				
巡回										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0142
				2018/4/13
調整後保管日時		2018年4月17日		9:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年4月17日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	大型土嚢	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアO	2018/4/17 8:10	7 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐採木					
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013102 - 0002		
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年4月17日		(火)	9:30		承認	審査	作成			
	作業件名	土捨場北側土地造成工事										
	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GM-06 東)						2018/4/12	2018/4/12	2018/4/12		
	作業主管G	廃棄物基盤グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2018/4/10		測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-74	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	排水管	C	04	D	B	2 m <sup>2</sup>	3 $\mu$ Sv/h	3 $\mu$ Sv/h	無		
	2						m <sup>2</sup>					
	3						m <sup>2</sup>					
4						m <sup>2</sup>						
5						m <sup>2</sup>						
巡回												

  

固体廃棄物管理G記入欄				受付	
受 付 番 号					
高2018	—	04	—	0143	2018/4/13
調整後保管日時		2018年4月17日		9:30	
【保管時の指示事項等】					
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。					

  

線量測定内容					
測定日	2018年4月17日				
測定No.	氏名	測定器	管理番号		
1		ICWBL	F1-ICWBL-120		
2					
3					
4					

  

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h								
1	1	排水管 (→H)	2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h			エリアO	2018/4/17 8:10	1 m <sup>2</sup>				1
											m <sup>2</sup>				
											m <sup>2</sup>				
											m <sup>2</sup>				
											m <sup>2</sup>				

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

## 瓦礫類・伐採木管理票

計上No.	6013102	-	0002
-------	---------	---	------

作業主 管  G  記  入  欄  メモ	保管希望日時	2018年4月18日			(水)	8:00			承認	審査	作成				
	作 業 件 名	土捨場北側土地造成工事													
	発 生 場 所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GO-09 西)						2018/4/12	2018/4/12	2018/4/12					
	作 業 主 管 G	廃棄物基盤グループ				監 理 員			TEL						
	元 請 会 社					担 当 者			TEL						
	線量測定年月日	2018/4/10	測定者				測定器名	ICWBL		管理番号	F1-JCWB-74				
	No.	※カテゴリー				物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無		$\beta + \gamma$ 線量率	
①		②		③											
1	プラスチック,ポリビニール類		A	02	D	A	2	m <sup>2</sup>	3	$\mu\text{Sv/h}$	3	$\mu\text{Sv/h}$	無		
2								m <sup>2</sup>							
3								m <sup>2</sup>							
4								m <sup>2</sup>							
5								m <sup>2</sup>							
メモ	巡回														

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					2018/4/13
高2018	—	04	—	0144	
調整後保管日時		2018年4月18日			8:00
【保管時の指示事項等】					
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。					

線量測定内容			
測定日	2018年4月18日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用／ 減容可否	コンテナNo.	測定No.	
	1	1	プラスチック,ポリ,ビニール類	2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h			エリアO	2018/4/18 8:15	1.2	m <sup>3</sup>			1
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
													m <sup>3</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																
メモ																

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年4月18日		(水)	8:30	承認	審査	作成	
	作業件名	土捨場北側土地造成工事							
	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GO-09 西)					2018/4/12	2018/4/12	2018/4/12
	作業主管G	廃棄物基盤グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2018/4/10	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-74	
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③					
1	大型土嚢	A	04	D	A	5 m <sup>2</sup>	3 $\mu$ Sv/h	3 $\mu$ Sv/h	無
2						m <sup>2</sup>			
3						m <sup>2</sup>			
4						m <sup>2</sup>			
5						m <sup>2</sup>			
巡回									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0145
				2018/4/13
調整後保管日時		2018年4月18日		8:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年4月18日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	大型土嚢	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアO	2018/4/18 8:20	6.8 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票												計上No. 6013102 - 0002																																																																																																										
作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年4月18日		(水)		9:00		承認		審査		作成																																																																																																									
	作業件名		土捨場北側土地造成工事																																																																																																																			
	発生場所		1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GO-09 西)						2018/4/12		2018/4/12		2018/4/12																																																																																																									
	作業主管G		廃棄物基盤グループ				監理員		TEL																																																																																																													
	元請会社						担当者		TEL																																																																																																													
	線量測定年月日		2018/4/10		測定者				測定器名		ICWBL		管理番号 F1-ICWBL-74																																																																																																									
	No.		保管物名			※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の 有無		β + γ 線量率																																																																																																					
	1		大型土嚢			A 04 D A			5 m <sup>3</sup>		3 μSv/h		3 μSv/h		無																																																																																																							
	2								m <sup>3</sup>																																																																																																													
	3								m <sup>3</sup>																																																																																																													
4								m <sup>3</sup>																																																																																																														
5								m <sup>3</sup>																																																																																																														
巡回																																																																																																																						
<div> <div> <div>固体廃棄物管理G記入欄</div> <div>受付</div> </div> <div> <div>受 付 番 号</div> <div> <div>高2018</div> <div>—</div> <div>04</div> <div>—</div> <div>0146</div> </div> <div>2018/4/13</div> </div> <div> <div>調整後保管日時</div> <div>2018年4月18日</div> <div>9:00</div> </div> <div> <div>【保管時の指示事項等】</div> <div>発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。</div> </div> </div>																																																																																																																						
<div> <div>線量測定内容</div> <div> <div>測定日</div> <div>2018年4月18日</div> </div> <div> <div>測定No.</div> <div>氏名</div> <div>測定器</div> <div>管理番号</div> </div> <div> <div>1</div> <div></div> <div>ICW</div> <div>F1-ICW-158</div> </div> <div> <div>2</div> <div></div> <div></div> <div></div> </div> <div> <div>3</div> <div></div> <div></div> <div></div> </div> <div> <div>4</div> <div></div> <div></div> <div></div> </div> </div>																																																																																																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>保管実績記入欄</th> <th>No.</th> <th>枝番</th> <th>保管物名</th> <th>測定場所 雰囲気線量率</th> <th>表面線量率</th> <th>β + γ 線量率</th> <th>保管場所</th> <th>保管日時</th> <th>物 量</th> <th>再利用/ 減容可否</th> <th>コンテナNo.</th> <th>測定No.</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>大型土嚢</td> <td>2 μSv/h</td> <td>2 μSv/h</td> <td></td> <td>エリアO</td> <td>2018/4/18 8:20</td> <td>5 m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>														保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.	1	1	1	大型土嚢	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/4/18 8:20	5 m <sup>3</sup>			1										m <sup>3</sup>													m <sup>3</sup>													m <sup>3</sup>													m <sup>3</sup>																														
保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																																																																																																										
1	1	1	大型土嚢	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/4/18 8:20	5 m <sup>3</sup>			1																																																																																																										
									m <sup>3</sup>																																																																																																													
									m <sup>3</sup>																																																																																																													
									m <sup>3</sup>																																																																																																													
									m <sup>3</sup>																																																																																																													
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																																																																																																						
メ モ																																																																																																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="5">※カテゴリ</th> <th rowspan="5">①</th> <th rowspan="5">A</th> <th rowspan="5">可燃物</th> <th colspan="2">01 紙・ウエス類</th> <th colspan="2">02 プラスチック・ポリ・ビニール類</th> <th colspan="2">03 木材類</th> <th colspan="2">04 可燃物その他</th> <th colspan="2">05 —</th> </tr> <tr> <th colspan="2">06 —</th> <th colspan="2">07 —</th> <th colspan="2">08 —</th> <th colspan="2">09 —</th> <th colspan="2">10 —</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">B</th> <th rowspan="3">不燃物</th> <th colspan="2">01 金属ガラ</th> <th colspan="2">02 コンクリートガラ</th> <th colspan="2">03 機器類・制御盤類</th> <th colspan="2">04 土砂類</th> <th colspan="2">05 塩化ビニール類</th> </tr> <tr> <th colspan="2">06 保温材</th> <th colspan="2">07 石綿含有物</th> <th colspan="2">08 ケーブル類</th> <th colspan="2">09 アスファルトガラ</th> <th colspan="2">10 不燃物その他</th> </tr> <tr> <th colspan="2">11 フランジタンク本体</th> <th colspan="2">12 フランジタンク付属品</th> <th colspan="2">13 —</th> <th colspan="2">14 —</th> <th colspan="2">15 —</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">C</th> <th rowspan="2">難燃物</th> <th colspan="2">01 ゴム類</th> <th colspan="2">02 難燃シート類</th> <th colspan="2">03 ホース類</th> <th colspan="2">04 難燃物その他</th> <th colspan="2">05 —</th> </tr> <tr> <th colspan="2">01 伐採木</th> <th colspan="2">02 伐採木(幹・根)</th> <th colspan="2">03 —</th> <th colspan="2">04 —</th> <th colspan="2">05 —</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">②</th> <th rowspan="2">状態</th> <th colspan="2">D:乾燥, W:湿気有</th> <th colspan="2">③ 履歴</th> <th colspan="8">A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="13">           注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)            注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。            注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。         </td> </tr> </tbody> </table>														※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —		06 —		07 —		08 —		09 —		10 —		B	不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類		06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他		11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 —		14 —		15 —		C	難燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —		01 伐採木		02 伐採木(幹・根)		03 —		04 —		05 —		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③ 履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」								注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。												
※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —																																																																																																										
				06 —		07 —		08 —		09 —		10 —																																																																																																										
				B	不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類						05 塩化ビニール類																																																																																																				
						06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ						10 不燃物その他																																																																																																				
						11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 —		14 —		15 —																																																																																																								
C	難燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —																																																																																																												
		01 伐採木		02 伐採木(幹・根)		03 —		04 —		05 —																																																																																																												
②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③ 履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																																																																																																
		注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。																																																																																																																				

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年4月19日		(木)	8:00		承認	審査	作成		
	作業件名	土捨場北側土地造成工事									
	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GO-09 西)						2018/4/12	2018/4/12	2018/4/12	
	作業主管G	廃棄物基盤グループ			監理員			TEL			
	元請会社				担当者			TEL			
	線量測定年月日	2018/4/10	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-74	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
1	排水管	C	04	D	A	4 m <sup>2</sup>	3 μSv/h	3 μSv/h	無		
2						m <sup>2</sup>					
3						m <sup>2</sup>					
4						m <sup>2</sup>					
5						m <sup>2</sup>					
メ モ	巡回										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0147
				2018/4/13
調整後保管日時		2018年4月19日		8:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年4月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-120
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	排水管(→H)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/4/19 8:10	4 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0002

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年4月19日		(木)	9:00		承認	審査	作成	
	作業件名	土捨場北側土地造成工事								
	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GO-09 西)					2018/4/12	2018/4/12	2018/4/12	
	作業主管G	廃棄物基盤グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2018/4/10	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-74		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	排水管	C	04	D	A	4 m <sup>2</sup>	3 μSv/h	3 μSv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
巡回										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0148
				2018/4/13
調整後保管日時		2018年4月19日		9:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年4月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-120
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	排水管(→H)	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/4/19 8:20	4 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No.		6013803 - 0015		
作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年4月19日			(木)	9:00		承認	審査	作成				
	作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事												
	発生場所	Bエリア							2018/4/12	2018/4/12	2018/4/12			
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL					
	元請会社					担当者			TEL					
	線量測定年月日	2018/3/6		測定者			測定器名	βγ用電離箱		管理番号	F1-ICWBL-101			
	No.	保管物名		※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率			
	1	機器類・制御盤類		B	03	D	A	6 m <sup>2</sup>	0.008 mSv/h	0.03 mSv/h	β有	0.1 mSv/h		
	2	金属ガラ		B	01	D	A	6 m <sup>2</sup>	0.008 mSv/h	0.015 mSv/h	β有	0.06 mSv/h		
	3							m <sup>2</sup>						
4							m <sup>2</sup>							
5							m <sup>2</sup>							
メモ	セシウム吸着塔→ ヤード(P2)への大型廃棄物の運搬 (コンテナ収納不可)													

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受付番号					
高2018	—	04	—	0150	2018/4/13
調整後保管日時		2018年4月19日			9:00
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年4月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-83
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				①	②	③	④	⑤	⑥						
1	1	機器類・制御盤類	5	μSv/h	20	μSv/h	80	μSv/h	エリアP2	2018/4/19 8:40	6 m <sup>2</sup>			1	
2	1	金属ガラ	5	μSv/h	10	μSv/h	30	μSv/h	エリアP2	2018/4/19 8:40	6 m <sup>2</sup>			1	
											m <sup>2</sup>				
											m <sup>2</sup>				
											m <sup>2</sup>				

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
①	B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
			06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
			11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
			01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
②	D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
			01	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。



瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013402 - 0040		
作業主管理	保管希望日時	2018年4月17日		(火)	10:00		承認	審査	作成			
	作業件名	5・6号機建屋内清掃業務委託(その3)										
	発生場所	5号 R/B オペフロ(GM-16西)					2018/4/13	2018/4/13	2018/4/13			
	作業主管G	機械グループ			監理員			TEL				
	元請会社				担当者			TEL				
記入欄	線量測定年月日	2018/3/30	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-188		
	No.	※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③								
	1	難燃シート	C 02	D B	0.1	m <sup>2</sup>	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
	2	プラスチック・ポリ・ビニール	A 02	D B	0.15	m <sup>2</sup>	0.01	mSv/h	0.04	mSv/h	無	
メ	3	紙	A 01	W B	0.1	m <sup>2</sup>	0.01	mSv/h	0.2	mSv/h	無	
	4	ウエス	A 01	D B	0.05	m <sup>2</sup>	0.01	mSv/h	0.15	mSv/h	無	
	5	可燃物その他	A 04	D B	0.02	m <sup>2</sup>	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
	回収											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	
				2018/4/13
調整後保管日時		2018年4月17日		10:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年4月17日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h									
メ	1	1	難燃シート	2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h			エリアO	2018/4/17 10:00	0.1	m <sup>2</sup>			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール	2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h			エリアO	2018/4/17 10:00	0.1	m <sup>2</sup>			1
	3	1	紙	2	$\mu$ Sv/h	15	$\mu$ Sv/h			エリアO	2018/4/17 10:00	0.1	m <sup>2</sup>			1
	5	1	可燃物その他	2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h			エリアO	2018/4/17 10:00	0.2	m <sup>2</sup>			1
	6	1	ゴム	2	$\mu$ Sv/h	2	$\mu$ Sv/h			エリアO	2018/4/17 10:00	0.01	m <sup>2</sup>			1
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																

※カテゴリ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —			
				06 —		07 —		08 —		09 —		10 —			
				B	不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類	
						06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他	
						11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 —		14 —		15 —	
②	C	難燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —				
			01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —				
③		状態		D:乾燥, W:湿気有		③ 履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)															
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。															
注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。															

## 瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主 管 G 記 入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリー				物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①		②										
	6	ゴム	C	01	D	A	0.1	m <sup>2</sup>	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無		
	7						m <sup>2</sup>								
	8						m <sup>2</sup>								
	9						m <sup>2</sup>								
	10						m <sup>2</sup>								

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	高2018	—	04	—	0155

[illegible]

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0018

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0156
				2018/4/13
調整後保管日時		2018年4月18日		10:00
【保管時の指示事項等】				

作 業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年4月18日		(水)	10:00		承認	審査	作成		
	作業件名	タンク減容・保管委託(H30)									
	発生場所	定検機材倉庫A						2018/4/13	2018/4/13		
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/3/21	測定者			測定器名	F1-ICWBL,H	管理番号	100,14		
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③							
	1	フランジタンク片底板(T170222)	B	11	D	A	21 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.004 mSv/h	β 有	120 mSv/h
	2	フランジタンク片底板(T170264)	B	11	D	A	21 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.005 mSv/h	β 有	150 mSv/h
3	フランジタンク片底板(T170253)	B	11	D	A	21 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.004 mSv/h	β 有	300 mSv/h	
4						m <sup>2</sup>					
5						m <sup>2</sup>					
メ モ	注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。 20ftコンテナに積み込み、保管致します。										

線量測定内容			
測定日	2018年4月18日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フランジタンク片底板(T170222)	2 μSv/h	2 μSv/h	6 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/18 10:00	21 m <sup>2</sup>		T170222	1
	2	1	フランジタンク片底板(T170264)	2 μSv/h	2 μSv/h	3 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/18 10:00	21 m <sup>2</sup>		T170264	1
	3	1	フランジタンク片底板(T170253)	2 μSv/h	2 μSv/h	3 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/18 10:00	21 m <sup>2</sup>		T170253	1
									m <sup>2</sup>			
メ モ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
		D	伐 採 木						
	③	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0018

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0157
				2018/4/13
調整後保管日時		2018年4月18日		10:00
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年4月18日		(水)	10:00		承認	審査	作成	
	作業件名	タンク減容・保管委託(H30)								
	発生場所	定検機材倉庫A						2018/4/13	2018/4/13	
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/3/15	測定者		測定器名	F1-ICWBL.H	管理番号	100.14		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	フランジタンク片側板(T170262)	B	11	D	A	21 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.004 mSv/h	β 有 60 mSv/h
	2	フランジタンク片側板(T170268)	B	11	D	A	21 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	β 有 60 mSv/h
3	フランジタンク片側板(T170245)	B	11	D	A	21 m <sup>2</sup>	0.004 mSv/h	0.008 mSv/h	β 有 60 mSv/h	
4	フランジタンク片側板(T170239)	B	11	D	A	21 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.007 mSv/h	β 有 40 mSv/h	
5	フランジタンク片側板(T170278)	B	11	D	A	21 m <sup>2</sup>	0.003 mSv/h	0.004 mSv/h	β 有 50 mSv/h	
注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。 20ftコンテナ積み込み、保管致します。										

線量測定内容			
測定日	2018年4月18日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フランジタンク片側板(T170262)	2 μSv/h	2 μSv/h	5 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/18 10:00	21 m <sup>2</sup>		T170262	1
	2	1	フランジタンク片側板(T170268)	2 μSv/h	2 μSv/h	5 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/18 10:00	21 m <sup>2</sup>		T170268	1
	3	1	フランジタンク片側板(T170245)	2 μSv/h	3 μSv/h	4 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/18 10:00	21 m <sup>2</sup>		T170245	1
	4	1	フランジタンク片側板(T170239)	2 μSv/h	2 μSv/h	3 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/18 10:00	21 m <sup>2</sup>		T170239	1
	5	1	フランジタンク片側板(T170278)	2 μSv/h	2 μSv/h	3 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/18 10:00	21 m <sup>2</sup>		T170278	1
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐 採 木					
	②		状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

## 瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	高2018	—	04	—	0157

[illegible]

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0015

作 業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年4月18日	(水)	8:00	承認	審査	作成
	作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事					
	発生場所	Bエリア			2018/4/16	2018/4/16	2018/4/16
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL		
	元請会社			担当者	TEL		
線量測定年月日	2018/3/20	測定者			測定器名	βγ用電離箱	
G	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率
			①	②	③		表面線量率
	1	コンクリートガラ	B	02	D	A	15 m <sup>2</sup>
	2						m <sup>2</sup>
	3						m <sup>2</sup>
	4						m <sup>2</sup>
	5						m <sup>2</sup>
メ モ	W1ヤードに積み上げ(フレコンパック15袋)						

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0162
				2018/4/16
調整後保管日時		2018年4月18日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年4月18日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ	10 μSv/h	80 μSv/h	150 μSv/h	エリアW1	2018/4/18 8:30	15 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
		D	伐 採 木						
	③	状 態		D:乾燥, W:湿気有	履 歴				
					A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0015

作 業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年4月18日	(水)	10:00	承認	審査	作成				
	作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事									
	発生場所	Bエリア			2018/4/16	2018/4/16	2018/4/16				
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/3/20	測定者		測定器名	βγ用電離箱	管理番号 F1-ICWBL-101				
G 記 入 欄	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率		
	1	コンクリートガラ	B	02	D	A	15 m <sup>2</sup>	0.008 mSv/h	0.1 mSv/h	β 有	0.2 mSv/h
	2						m <sup>2</sup>				
	3						m <sup>2</sup>				
	4						m <sup>2</sup>				
	5						m <sup>2</sup>				
メモ	W1ヤードに積み上げ(フレコンパック15袋)										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0163
				2018/4/16
調整後保管日時		2018年4月18日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年4月18日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-111
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	1	コンクリートガラ	10 μSv/h	50 μSv/h	110 μSv/h	エリアW1	2018/4/18 9:50	15 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—		
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—		
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—		
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0015

保 管 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年4月18日	(水)	11:00	承認	審査	作成			
	作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	Bエリア			2018/4/16	2018/4/16	2018/4/16			
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/3/20	測定者		測定器名	βγ用電離箱	管理番号 F1-ICWBL-101			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率	
1	アスファルトガラ	B	09	D	A	7 m <sup>3</sup>	0.008 mSv/h	0.1 mSv/h	β有	0.2 mSv/h
2	コンクリートガラ	B	02	D	A	8 m <sup>3</sup>	0.008 mSv/h	0.1 mSv/h	β有	0.2 mSv/h
3						m <sup>3</sup>				
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				
W1ヤードに積み上げ(フレコンパック15袋)										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0164
				2018/4/16
調整後保管日時		2018年4月18日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年4月18日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-111	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ	10 μSv/h	70 μSv/h	150 μSv/h	エリアW1	2018/4/18 11:10	7 m <sup>3</sup>			1
	2	1	コンクリートガラ	10 μSv/h	60 μSv/h	170 μSv/h	エリアW1	2018/4/18 11:10	8 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。



瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0010		
作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年4月20日			(金)	8:30			承認	審査	作成	
	作業件名	H5エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事										
	発生場所	H5タンクエリア								2018/4/16	2018/4/16	2018/4/16
	作業主管G	貯留設備土木グループ					監理員	TEL				
	元請会社						担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/4/5		測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	1F-ICWBL-14	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
	1	金属ガラ	B	01	D	A	10 m <sup>2</sup>	10 μSv/h	0.03 mSv/h	β 有	0.1 mSv/h	
	2	紙・ウエス類	A	01	D	B	3 m <sup>2</sup>	10 μSv/h	0.02 mSv/h	β 有	0.1 mSv/h	
	3	可燃物・その他	A	04	D	B	3 m <sup>2</sup>	10 μSv/h	0.08 mSv/h	β 有	0.1 mSv/h	
4						m <sup>2</sup>						
5						m <sup>2</sup>						
メ モ	8m3コンテナ 2基(No.61,62)											

  

線量測定内容											
測定日	2018年4月20日										
測定No.	氏名	測定器	管理番号								
1		ICWBL	F1-ICWBL-111								
2											
3											
4											

  

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h			m <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>			
	1	1	10m3コンテナ	10	μSv/h	10	μSv/h	12	μSv/h	エリアW1	2018/4/20 8:30	10	m <sup>2</sup>		OK-0029	1
	1	2	10m3コンテナ	10	μSv/h	15	μSv/h	17	μSv/h	エリアW1	2018/4/20 8:30	10	m <sup>2</sup>		C0038	1
													m <sup>2</sup>			
													m <sup>2</sup>			
													m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ  
モ 上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納。

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0010		
作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年4月19日		(木)	8:30		承認	審査	作成			
	作業件名	H5エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事										
	発生場所	H5タンクエリア (GP-27北東側)						2018/4/16	2018/4/16	2018/4/16		
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2018/4/5	測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	1F-ICWBL-14		
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
1	可燃その他		A	04	D	B	5 m <sup>2</sup>	20 μSv/h	30 μSv/h	無		
2							m <sup>2</sup>					
3							m <sup>2</sup>					
4							m <sup>2</sup>					
5							m <sup>2</sup>					
メ モ	巡回回収希望 ※7:30~10:30, 12:30~14:00で調整可											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0167
				2018/4/17
調整後保管日時		2018年4月19日		8:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年4月19日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μSv/h	2	μSv/h								
1	1	1	可燃その他	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/4/19 8:30	6.7 m <sup>2</sup>			1
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
①	B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
			06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
			11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
			01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
②	D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
			01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。